

環境大レポート

第43号

Sep. 2025

K A N K Y O D A I R E P O R T



2025年度 入学式



学生EMS委員会 エコキャンパスツアー



英語村 TUES TED



モルック大会



鳥取しゃんしゃん祭り2025



門木ゼミ 大学裏山にて調査中



国際交流プログラム 茶道体験



磯野ゼミ ぶらいべいと博物館への出展



留学生交流会



英語村BBQ

特集

TUES
lunch situation /

TUES ランチ事情

お昼、どうしてますか？



キャンパストピックス

TUES Sustainability Weekを開催しました！



就職支援

就職進学実績



人事報告

着任挨拶



ESSAY

双眼鏡を忘れたときは休むとき 環境学部 谷口 晴香 講師

2 3

4

5

6

7



新書のお知らせ

こちら公立鳥取環境大学です！
経営のしくみがわかる！文科系のための経営工学入門



国際交流

セントラルクリスチャンカレッジオブカンザス(米)との学生交流プログラムを実施しました
『海外語学研修保護者様向け説明会』を開催しました



クラブ&サークル活動・資格取得

硬式テニス部・狩猟部/資格取得



プロジェクト研究

考現学～観察を通して社会を読み解く～



キャンパスニュース

TUESレポートより



お知らせ

PRコーナー/主なスケジュール 2025年9月～2026年3月まで
2025年度 学部・大学院学位授与式/寄附金のお願い

7

8

9

10

11

12

特集

TUES
lunch situation

TUES ランチ事情

お昼、どうしてますか？

授業や課題の合間に ホットひと息つけるランチタイム。
学生たち(そして教職員)は、普段どんな風にお昼を過ごしているのでしょうか？TUES の“ランチ事情”をのぞいてみました！



学食でワイワイ食べてます！
経営学部 皆さん

よくカップ焼きそば(編)を食べますが、今日は時間がないのでパン(とおにぎり)
環境学部3年 大久保 裕平さん (佐賀県出身)



I had a very delicious lunch of lentil soup and fried chicken.
英語村スタッフ Saraさん (スウェーデン出身)



Today I had Shawarma for lunch and it was delicious.
英語村スタッフ Josephさん (ガンビア出身)



学食で頼む人とダンクショップで買う人がいます。ちょっと健康を気にしてアーモンドミルクを飲む人も。と仲間たち
経営学部3年 佐賀 真伍さん (富山県出身)

For today's lunch I had an Egyptian traditional meal. It's a cheese sandwich made by Arabian bread we call it "ORAS".
英語村スタッフ Mostafaさん (エジプト出身)

午後の授業に向けてしっかりエネルギーチャージします！
経営学部3年 栗原 奈々さん (福岡県出身)



ダイエット中なのでおにぎりだけ食べています。
環境学部3年 萬 典子さん (鳥取県出身)

まだ食べていません。ゼミ室で課題や作業をしていると、昼食は忘れがちです。
環境学部4年 北中 健太郎さん (鳥取県出身)



毎週火曜はゼミ室でお昼ご飯を食べます！今日はバイト先のパンを持ってきました！
環境学部4年 田中 ことりさん (鳥取県出身)



最近物価が高くて困っちゃいます。安くおいしいものを日々探しています。
環境学部4年 濱 颯太さん (大阪府出身)



天気の良いと外で食べる人も！

nice



今日のランチは友達からもらったポップコーンです！
環境学部1年 中島 彩華さん (佐賀県出身)
永井 梨紗さん (愛知県出身)
長尾 奏来さん (広島県出身)

GOOD!

食堂で里山生物園のランチミーティングをしています。美味しいご飯で会話が弾みます！
環境学部3年 藤田 悠心さん (京都府出身)
三浦 達也さん (兵庫県出身)
環境学部2年 山居 一輝さん (大阪府出身)



普段はお弁当を作って持参しています！
環境学部1年 高橋 真咲さん (茨城県出身)



在学生220人に
聞きました！

Q 学校がある日の昼食はどうしていますか？

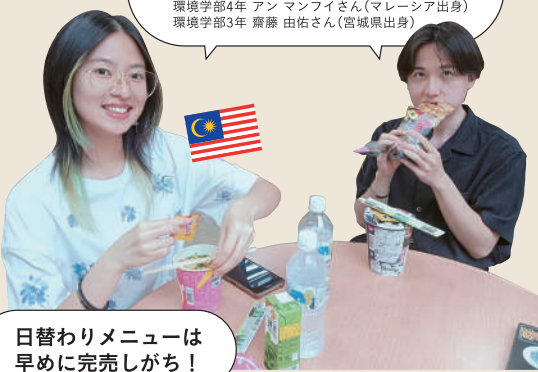
〈その他の回答〉
食べない(4名)、自宅(4名)、自販機のパン(3名)、お菓子・その日の気分♪・バイト先のまかない・現地調達(各1名)

毎日朝から作ってくれるので、母にはとても感謝しています。
環境学部1年 葉狩 英さん (鳥取県出身)

いつもおいしいお弁当ありがとうございます。
環境学部1年 橋本 海音さん (鳥取県出身)



コスト重視です。おにぎりとかップスープが定番です。
環境学部4年 アン マンフイさん (マレーシア出身)
環境学部3年 齋藤 由佑さん (宮城県出身)



日替わりメニューは早めに完売しがち！

学食MENU

不動の人気2TOP!
味も量もコスパも大満足！



とんかつカレー



ジャンボチキンカツ丼

売り切れ必至の日替わり定食！
撮影日のラインナップはこちらでした！



牛すじ丼



素ラーメン

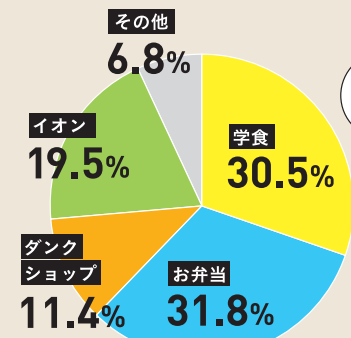


かけうどん



きつねうどん

安定の麺類も！
麺類は全て350円以内！
学生の強い味方！



2024年度 計220名
(環境学部119名、経営学部101名)
の1~4年生が回答

一汁三菜が憧れます。
環境学部4年 吉福 康生さん (長崎県出身)



栄養より量。栄養バランスは甘え。
環境学部4年 世良 蒼矢さん (広島県出身)



ほぼ毎日学食でランチを食べています。おコメがちゃんと出るようになってよかった。
環境学部 荒田 鉄二教授



11時からワンコインで野菜と肉か魚と主食が食べられ嬉しい...もう少し遅くまで営業していると、さらに嬉しい！
経営学部 相川 泰教授



TUES Sustainability Week を開催しました!

令和7年7月7日(月)から12日(土)までの間、TUES Sustainability Week実行委員会(学生EMS委員会・サステナビリティ研究所)が中心となって、『TUES Sustainability Week 2025』を開催しました。『TUES Sustainability Week 2025』は、本学の脱炭素推進に合わせ、学生が主体となり脱炭素をはじめとするSDGsの課題について、啓発等を目的として実施しているものです。今年度は「未来へのルート」をテーマに掲げ、開催中は、脱炭素や生物多様性、鳥取の未来に関するSustainability Talksや、パネル展示、古着古本市など様々なイベントを実施しました。

Sustainability Talksでは、「鳥取の未来」、「脱炭素」、「生物多様性」に沿ったテーマで、行政、企業及び学生団体等の取組をリレー形式で発表していただきました。中でも、今年度は兵庫県立明石北高等学校 科学探究部 生物班の高校生たちを招き、自然を守る地域連携について、生物多様性の観点から日ごろの研究内容について発表して頂くとともに、その後も、本学の学生達とのパネルディスカッションにも参加いただき、活発な意見を交わしていただきました。

また、今年度で3年目となるこのイベントでは初の試みとして、小中学生をはじめとする地域の方々を対象に、楽しみながら「防災」や「食とエネルギー」から考える、持続可能な暮らしのカタチを体感いただけるイベント『未来ノオト』を、7月12日(土)に開催しました。本学を会場に、非常時における発電体験や、紙を使ってご飯を炊く経験ができるコーナーなど、県内の企業の皆さんにご協力いただき、防災に関するワーク等ができるブースを複数設置したほか、屋外では消防車や自衛隊、警察などの緊急車両の展示等も行いました。

当日は、小学生連れのご家族や、近隣住民など、多くの方が来場され、災害時の工夫やサステナブルな生活の知恵を「知る・体験する・楽しむ」ことを通して、防災をはじめとする持続可能性に関する知識や技術を実際に体験して頂くことができました。



Sustainability Talks

〈 Sustainability Talks 〉

	鳥取の未来 7/7(月)	脱炭素 7/8(火)	生物多様性 7/9(水)
16:20～ 16:40	鳥取県 産業未来創造課 「鳥取県の宇宙産業創出に向けて」	中国電力株式会社 「持続可能な開発目標(SDGs)と中国電力」	MIZUNOBA 「八頭町で環境保全しながら田植えやってみた」
16:45～ 17:05	鳥取市 まちなか未来創造課 「まちの未来の話をしよう」	学生EMS委員会 「知っていますか?大学の脱炭素に向けた取組」	兵庫県立明石北高等学校 科学探究部 生物班 「ネビキグサの謎の解明とクビアカツヤカミキリの駆除 ～自然を守る地域連携～」
17:10～ 17:30	鳥取県 とっとり未来創造タスクフォース 「30年後の鳥取はどうなる?どうしたい?～ 「とっとり未来予想図」プロジェクトで共に描く地域の未来像」	市民エネルギーとっとり 「脱炭素先行地域って何してるの?」	学生によるパネルディスカッション (登壇者+びおとふ)
17:30～ 17:50	交流の時間	交流の時間	学生達のパネル ディスカッション



〈 7/12(土) 未来ノオト 〉

テーマ:「防災」×「食とエネルギー」から考える、持続可能な暮らしのカタチ

1 防災関連車両の展示

自衛隊鳥取地方協力本部、鳥取警察署、鳥取消防署
パトカーや消防車トイレーカー等を展示し、
試乗体験や制服試着体験



消防車やパトカー等の展示

2 屋内ブース

- 鳥取県危機管理部消防防災課:消防車や救急車のベークラフト体験等
- 自衛隊鳥取募集案内所:体験型VR等
- 鳥取海上保安署:海上保安庁の制服試着体験、装備品展示等
- 鳥取地方気象台:気象観測機器の展示、竜巻発生装置の展示等
- 中国電力株式会社鳥取支社:実験セットを使った発電体験、eco工作等
- 公立鳥取環境大学 防災サークルmu-TUES:液状化実験等
- 公立鳥取環境大学 昆虫食広め隊:昆虫食の試食、クイズ等



省庁や企業等の防災に関する
様々な体験・展示ブース

3 キャンパスエコツアー

学内施設を巡回して、大学が実施している環境に
配慮した設備や取組の紹介

4 魔法のかまどごはん炊飯体験

紙バックや新聞紙を使った炊飯体験

5 生物観察

6 クイズビンゴ大会



古着・古本市も盛況でした



実行委員会のみんな
お疲れ様でした!



就職・進学実績

2024年度卒業生の就職・進学実績を紹介します。

就職Data

勤務地別就職内定者数

※配属予定地または本社所在地

過去3年分の実績はこちら

中国(鳥取県を除く) 29名
環境学部 10/経営学部 19九州・沖縄 13名
環境学部 8/経営学部 5鳥取県 49名
環境学部 19/経営学部 30四国 13名
環境学部 8/経営学部 5

北海道・東北 2名

環境学部 2/経営学部 0

中部 21名

環境学部 9/経営学部 12

関東 40名

環境学部 22/経営学部 18

近畿 78名

環境学部 43/経営学部 35

就職内定率

98.8%

環境学部 99.2% 経営学部 98.4%

内定者数 121名
就職希望者数 122名内定者数 124名
就職希望者数 126名

環境学部 2024年度卒業生の実績 ※業種別50音順

農業、林業 (株)サラダコスモ 建設業 (株)石勝エクステリア、(株)伊東造園、(株)ウッズカンパニー、(株)タイキ、(株)西原環境、住友林業ホームテック(株)、住友林業緑化(株)、セキスイハイム中四国(株)、日本防蝕工業(株) 製造業 石原ケミカル(株)、岩谷瓦斯(株)、金子産業(株)、(株)あわしま、(株)ウィードプランニング、(株)田中衛機工業所、(株)九十九島グループ、(株)ボークス、加茂繊維(株)、三和エンジニアリング(株)、ジャココ(株)、中川製袋化工(株)、日清鋼業(株)、三ツ星ベルト(株)、南ひよこカンパニー(大江ノ郷自然牧場グループ)、由良ドック(株) 電気・ガス・熱供給・水道業 NTTアノードエナジー(株) 情報通信業 エクシードシステム(株)、(株)イタミアート、(株)クレスコ・デジタルテクノロジー、(株)スーパーソフトウェア、(株)鳥取県情報センター、(株)日本ビジネス開発、(株)情報システム、(株)日本ソフトウェア、(株)パーソルビジネスプロセスデザイン(株)、東日本電信電話(株)

運輸業、郵便業 平成農産運輸(株) 卸売業、小売業 イオンリテール(株)、(株)エディオン、(株)オートパックス関西販売、(株)辻森商会、(株)中市大福堂ンマルシェ、(株)西原商會、(株)ニトリ、(株)パンテック、(株)ひごべつフレンドリー、(株)ポーネルド、(株)リビングハウス、かわさき屋、河村電器産業(株)、生活協同組合コープこうべ、大ーガス(株)、ダイキンHVCソリューション中四国(株)、テス・エンジニアリング(株)、ブリヂストンタイヤソリューションジャパン(株)、ホンダ山陰中央(株)、ホンダ泉州販売(株)、矢崎総業(株)、UCCコーヒープロフェッショナル(株)、レックス(株) 金融・保険業 (株)鳥取銀行、(株)みなと銀行、鳥取信用金庫、米子信用金庫 不動産業、物品賃貸業 (株)カチタス、太陽建機レンタル(株) 学術研究、専門・技術サービス業 アジア航測(株)、一般社団法人静岡県産業環境センター、MHパワーエンジニアリング(株)、応用技術(株)、(株)エス・ビー・シー、国際航業(株)、国立研究開発法人水産研究・教育機構、シンプ技研コンサルタント(株)、東洋技研コンサルタント(株)、(株)服部エンジニア(株) 宿泊業、飲食サービス業 (株)三井不動産ホテルマネジメント 教育、学習支援業 愛媛県教育委員会、(株)アワーズ、(株)トライグループ、鳥取県教育委員会、長崎県教育委員会、ヒューマンアカデミー(株)、三重県教育委員会 医療、福祉 鳥取市社会福祉協議会 複合サービス事業 京都府農業協同組合 サービス業 伊予鉄総合企画(株)、ヴェオリア・ジェネッツ(株)、Evand(株)、(株)アトソーシングテクノロジー、(株)インテックスホールディングス、(株)エコプラン、(株)クリタス、(株)DYMキャリア、公益財団法人日本野鳥の会、大栄環境(株)、特定非営利活動法人ピーズウィンス・ジャパ、日本空調サービス(株)、パーソルプロセス&テクノロジー(株)、マンパワグループ(株)、Life fix 合同会社 公務 大阪府、大阪府警察、大村市、神戸市、国土交通省 近畿地方整備局、桜井市、茅野市、徳島県、鳥取県、鳥取市、兵庫県警察、松山市、林野庁 大学院進学 九州大学大学院、公立鳥取環境大学大学院、信州大学大学院、ポロニヤ大学大学院(ダブルディグリー)、東京農工大学大学院

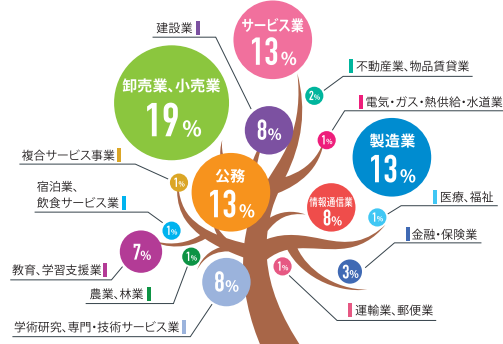
経営学部 2024年度卒業生の実績 ※業種別50音順

建設業 (株)一条工務店、東亜工業(株)、東建コーポレーション(株)、日成ビルド工業(株) 製造業 エヌイーシー(株)、(株)進々堂、(株)田中衛機工業所、(株)ボン・リプラン、(株)源吉光庵、(株)武蔵野、(株)モリタエコノス、久商(株)、堂本食品(株)、日経パナシステム(株)、日本食研ホールディングス(株)、日本テクノロジーソリューション(株)、日立造船(株)、プリマハム(株)、ホシザキ(株)、ヤマハ発動機(株) 電気・ガス・熱供給・水道業 日本BCP(株) 情報通信業 アクシスITパートナーズ(株)、(株)アテック、(株)ケイズ、(株)システムプランニング、(株)新日本海新聞社、(株)ソフィア、(株)鳥取県情報センター、(株)日立産業制御ソリューションズ、(株)横浜アニメーションラボ、(株)カール(株)、国際コンピューター(株)、ソフトバンクエンジニアリング(株)、リンク情報システム(株)

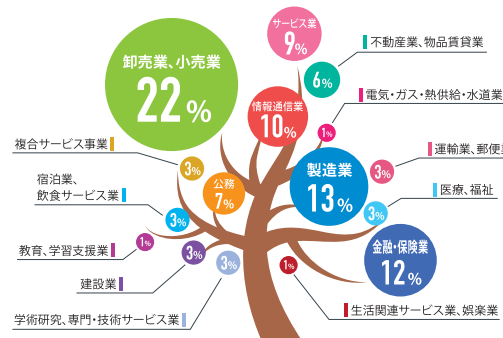
運輸業、郵便業 WILLER TRAINS(株)、四国旅客鉄道(株)、下津井電鉄(株)、流通(株) 卸売業、小売業 荒井商事(株)、(株)赤尾、(株)イノベーションオプティカルサービス、(株)いーふらん、(株)イボキン、(株)Eneosモビリティ、(株)オオヤ、(株)コーグツ、(株)静岡印刷、(株)スズキ自販鳥取、(株)高山、(株)ツルハグループドラッグ&ファーマシー西日本、(株)トキ・キホーテ、(株)南陽、(株)ネクステージ、(株)バンハウス、(株)ホンダモビリティ中四国、(株)山善、コマツカスタマーサポート(株)、コンドーテック(株)、(株)シンビン、(株)昭和企業、(株)谷村実業、(株)福西電機、富士電機テクニカ(株) 金融・保険業 (株)伊予銀行、(株)沖縄海邦銀行、(株)山陰合同銀行、(株)鳥取銀行、(株)徳島大正銀行、(株)鳥取銀行、(株)しな信用金庫、(株)馬場信用金庫、鳥取信用金庫、三井住友信託銀行(株) 不動産業、物品賃貸業 (株)インデックス、(株)共立メンテナンス、(株)ティーケービー、サムティ(株)、南拓、(株)レイス(株)

学術研究、専門・技術サービス業 (株)アトHリソリューションズ、(株)荒谷建設コンサルタント、(株)キョウエイアドインテリナショナル、太陽有限責任監査法人 宿泊業、飲食サービス業 (株)直島文化村(ベネッセハウス)、(株)ユラク、(株)信和ホテルズ(株) 生活関連サービス業、娯楽業 (株)ラウンドワンジャパン 教育、学習支援業 国立大学法人名古屋工業大学 医療、福祉 (株)麻生、公益財団法人鳥取県保健事業団、社会福祉法人徳和会特別養護老人ホームやすらぎの里 複合サービス事業 静岡市農業協同組合、全国農業協同組合連合会 サービス業 (株)アクティビティ、(株)ウィルオブ・コンストラクション、(株)エイジス、(株)ジジブ、(株)W-ENDELESS、(株)マーキュリー、(株)ROXX、(株)ワールドインテック、公益社団法人全日本不動産協会、千代田ビル管理(株)、ラ・メゾン・ブランシュ 公務 大田市、岡山県警察、京丹後市、鳥取県、鳥取市、広島県 大学院進学 神戸大学大学院

Data 業種別就職率



Data 業種別就職率



卒業生からのメッセージ

環境学部 酒井 隆成 さん

2018年度卒業生(兵庫県出身)

就職先: 鳥取市役所

私は大学時代の経験を通して、物事の本質を俯瞰的に見る力をつけることができました。サークル活動において、「もっと楽しく、楽にできれば」という想いから、例年開催していたイベントや活動全体に関する運営体制の改善に取り組んだことがきっかけでした。この経験は、社会で人のために働く上で役に立っています。「手段(どうやってやるか)」の前に「目的(何のためにやるか)」に焦点を当てれば、本当に必要なことが見えてきます。あなたが「何かに取り組む前に、「これは何のためにやるか?」と自問してみてください。その問いの答えが、これから目指すべきゴールの道標になってくれるはずです。



経営学部 妹尾 隼人 さん

2024年度卒業生(岡山県出身)

就職先: 山陰合同銀行

私は大学卒業後、山陰合同銀行で勤務しています。経営学部を卒業しました。銀行に入ると簿記や財務など、大学生時代に学んだ知識がとても必要になります。私自身、授業で金融の話を聞いていたので、スタートが少し早く感じました。その反面、もっと授業を聞いて、銀行に関係のある資格を取得すればよかったと感じました。楽しい大学生活かと思いますが、ほんの少しでも将来のために勉強することも必要かと思います。悔いのない大学生活を送ってください。





着 | 任 | 挨 | 拶 | 3名の教員が着任いたしました。



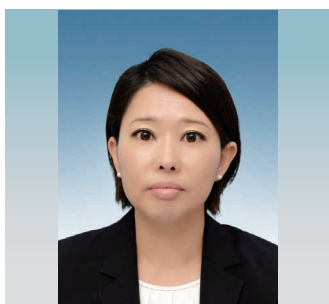
2025年4月に環境学部に着任いたしました。

本学では、「環境とエネルギー」「地域エネルギーシステム論」等の講義を担当します。

私は、3月までエネルギー会社に勤務しておりました。そこでは、省エネ機器や再生可能エネルギーの研究開発を行ってきました。また、太陽光発電所を管理するビジネスに携わったこともありました。ここで得られた多くの経験を生かして、学生の皆さんには、現場で起きているリアルな情報も合わせて伝えていけたらと思っています。

昨今、「脱炭素」という言葉を良く耳にするようになりました。脱炭素社会の実現には、多くの課題があります。その課題をどうやって解決していけば良いのか、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

環境学部 **松井 徹** 准教授



2025年4月に経営学部に着任いたしました。

本学では「経営学入門」「経営組織論」の講義を担当しています。私は、大学職員として、長年、学生のキャリア支援に携わってきました。その過程で、若年層の早期離職が、離職者と企業の双方にネガティブな影響を及ぼすことに関心を持ち、仕事をしながら博士後期課程に在籍し、早期離職の抑制について研究しました。今年で大学教員4年目ですが、若年層に関する研究を継続しています。

このような経験や問題意識を踏まえ、講義では、受講生が、「なぜ働くのか」「どのような組織で働きたいのか」といった今後のキャリアについて考えを深めることを目的の一つにしています。この鳥取で、学生たちと共に地域貢献につながる教育・研究活動をしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

経営学部 **中島 智子** 准教授



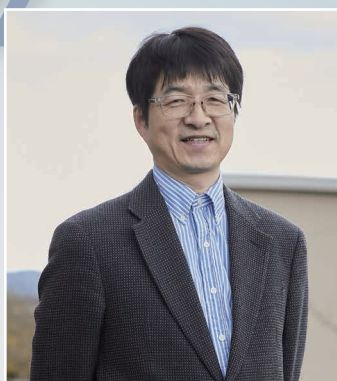
2025年4月に人間形成教育センターに着任いたしました。着任前は、愛媛県にある新居浜工業高等専門学校で7年間勤務していました。

解析的整数論を専門とし、様々な多重ゼータ関数の解析的性質や正の整数点における特殊値に関する研究を行っています。本学では、微分積分学、線形代数学、情報リテラシ1の講義を担当します。

近年、デジタル社会において不可欠な能力や技術を育成するための「数理・データサイエンス・AI教育」への関心が高まっており、私が担当する科目は、この教育の基礎を担っています。微分積分学と線形代数では論理的思考力を育み、情報リテラシ1ではコンピュータに関する知識と技能を身に付けることが目標です。これらの能力や技術を学生のみなさんが習得するための一助となれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

人間形成教育センター **門田 慎也** 講師

サステナビリティ研究所 所長着任挨拶



サステナビリティ研究所
所長

キム サンヨル

金 相烈 教授

[Profile]

ソウル市立大学環境工学科卒。北海道大学で工学博士号取得。ウィーン工科大学客員研究員、北海道大学特任助教などを経て、2013年より本学に着任。2021年より教授、2025年4月からサステナビリティ研究所長。

低炭素社会や循環型社会の実現、そして自然との共生は、いまや国際社会が直面する喫緊の課題です。気候変動や資源の枯渇など、持続可能性への懸念が高まるなか、私たち一人ひとりが行動を見直し、未来への責任を共有することが求められています。

本研究所は2009年に設立され、多角的な環境研究と実践的な地域連携を通じて、社会課題の解決に貢献してきました。

2023年には鳥取市が環境省より「脱炭素先行地域」に選定され、本学も提案に関わり、本研究所は研究面から支援しています。こうした地域との協働を通じて、実践的な知見を社会に還元することが、私たちの重要な使命だと考えています。

学生の皆さんには、自由な発想を大切にし、環境保全や地域社会の持続的発展、そしてSDGsの推進に主体的に関わってほしいと願っています。研究所はこれからも、皆さんの挑戦を支え、地域社会と共に持続可能な未来づくりに貢献します。



双眼鏡を忘れたときは休むとき



環境学部

谷口晴香 講師

専門分野：霊長類学、動物行動学、生態人類学

野生のニホンザルの調査をする際は、日の出前に起床し、日が出るところには宿を出ます。なぜそんなに朝早く調査に出発するのかというと、前日の夕方にサルの泊り場を確認できた場合には、朝早くに前日の泊り場にいけばサルたちがまだくつろいでいるからです。サルをわざわざさがす手間がかかりません。

鹿児島県屋久島で調査をしていたある日のことです。朝早くに宿を出て前日確認した泊り場にむかいました。到着すると、サ

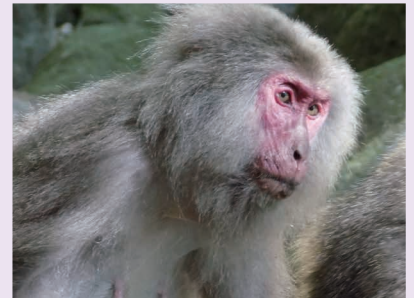


▲ 双眼鏡を使用しサルを観察する様子

ルたちがまだくつろいでいました。「よしよし」と、ノートに発見時刻を書きこみ、いつものようにサルの顔を確認しようと双眼鏡に手をのばしました。しかし、ゴツゴツとした感触がありません。『あっ、双眼鏡がない!!』。双眼鏡がないと、サルの個体識別がすばやくできませんし、何を食べているのかもぼんやりとしかわかりません。つまり、データの精度が極端に落ちます。私の調査には、ノートとペンと同じくらい双眼鏡が大事な道具です。少し悩みましたが、双眼鏡をとりて宿に戻ることにしました。研究者の先輩から、『(研究に必須な)双眼鏡を忘れたときは、よほど疲れているときだから、その日は休むほうがよい』と言われたことがあります。疲れたなかでのフィールドワークは、事故のもとになります。「疲れているのだ、疲れているのだ」とつぶやきながら、せっかく出会ったサルたちに背をむけ、来た道を戻りました。皆さんも忘れて



はいけない大事なものを忘れた時は、「自分は疲れているのだ」と思って休んでもよいかもしれません。



▲ オトナのメス(名前:エレナ)。識別できるかな。



新書のお知らせ

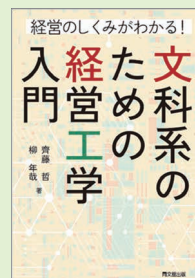


出版社：今井出版
発売日：2025/7/22
編著：公立鳥取環境大学
仕様：A5判/278ページ
ISBN-13：978-4-86611-453-8
定価：本体1,500円+税

『こちら公立鳥取環境大学です!』

このたび、本学教員によるエッセイ本「こちら公立鳥取環境大学です!」を発行しました。6年前に刊行した「こちら公立鳥取環境大学環境学部です!」の第2弾となる本書では、学部をまたいで21名の教員が執筆しました。それぞれの目線で語られる教育・研究の話、そして本学の日常や学生とのユニークなエピソードをぜひ、ご一読ください。

本学では、学術振興に寄与するとともに、研究成果を広く社会に発信し、還元することを目的として、本学教員の出版に助成を行っています。2024年度に出版助成を受けた著書が刊行されておりますので是非ご一読ください。



出版社：同文館出版
発売日：2025/3/18
仕様：A5判/244ページ
ISBN-13：978-4-49539-097-6
定価：本体2,300円+税

『経営のしくみがわかる! 文科系のための経営工学入門』

経営学部 齊藤 哲 教授
経営学部 柳 年哉 特任教授

経営工学は、生産管理・品質管理・財務会計・情報システムなどの経営上の諸問題を発見し、解決する実践的なマネジメント技術です。工学という名前のせいかり科系の学問分野と見られがちで、文科系の学生・社会人の学ぶ機会がないのはもったいないという問題意識から、本書を執筆しました。本書は、難しい数式はほとんど使わずに経営工学の理論や方法論をやさしく解説し、さらに数多くの例題によって理解を助けるようにしています。('はじめに'より)



国際交流プログラム

本学では、海外大学との交流協定に基づき、様々な国際交流プログラムを実施しています。海外の学生との交流や歴史・文化体験は、語学力や国際感覚を磨くだけでなく、視野の広がりや自己成長のきっかけとなっています。

[詳しくはこちら！](#)



セントラルクリスチャンカレッジオブカンザス(米) との学生交流プログラムを実施しました

本学とセントラルクリスチャンカレッジオブカンザス(以下「CCCK」)は、学生交流と異文化体験を主とした相互派遣方式の交流プログラムを実施しており、この度、令和7年5月31日(土)から6月11日(水)まで、CCCKから1名の交換留学生ケリー・ジョンズ・カレブさんが来学し、受入れプログラムを行いました。また、CCCK職員のルー・トリア氏もプログラム期間中にアメリカから来学し、プログラムの視察と共にカレブさんと一緒に様々な活動に参加しました。

プログラム期間中、カレブさんは日本語特別講義を受講しながら、英語村でアクティビティやチャットへ参加するとともに、本学のバレー部の練習に参加するなど、学生との交流を深めました。

また、日本文化の体験の一環として、鹿野町でそば打ち体験、本学茶道部の指導のもとで茶道体験、そして書道体験をしたほか、ホームステイを通して鳥取県の一般家庭のライフスタイルを体験しました。



キャンパスで過ごす最終日は、英語村主催のお別れ会に参加し、学生たちと名残惜しくお別れの時を過ごしました。カレブさんのプログラム体験記には『日本語や日本文化を学べてとても良い経験になりました。また、たくさんのTUESの学生と交流できて楽しかったです。』とあり、充実した滞在となったようでした。

次は、今夏に本学から2名の学生をCCCKに派遣し、アメリカンキャンパスライフを体験します。



バレー部の練習に参加◎ レシーブ決めた！



茶道部の学生に教えてもらいながら初めての茶道体験(右がカレブさん)



BBQの後は、学長とも歓談しました。

「海外語学研修保護者様向け説明会」を開催しました

- 開催日時：6月25日(水) 午後7時～8時30分
- オンライン(Webex)にて実施

令和7年度春休み海外語学研修(英語圏)において、参加を希望している学生の保護者の方を対象に、保護者説明会を実施しました。

学生への海外語学研修の説明会後、春休み海外語学研修(カナダ・オーストラリア・マレーシア)に参加した学生の保護者の方に向けて、書面だけでは十分に把握できない研修内容について、理解を深めて頂くことを目的に、学生を対象にした説明会のように、保護者の方にもオンライン(Webex)で説明会を行いました。

当日は、パワーポイントにより研修先の写真等を用いて現地の紹介をしながら、各研修の概要説明、参加した学生の体験談発表、事務手続きの流れに関する説明などを行い、保護者の方々に海外語学研修について情報提供し、理解を深めていただきました。

参加した保護者の方々からは、

- アレルギーのある子供に対して、対応はして頂けるのか
- 海外での研修中に英語の活用の機会は十分確保されるのか
- TOEICのスコアなど、留学をすることで具体的に英語力が上がったという実績はあるのか

といった質問があり、担当者からは、事前にアレルギーの有無を確認してあれば研修先での配慮が可能なこと、研修期間中は、英語での講義が行われるほか、現地の学生・地元の方々やホストファミリーとの会話を通じて、英語の理解力、語学力が向上する機会は多々あることや、実際にTOEICのスコアが向上した事例などが紹介されました。

今後も、学生の海外語学研修に向けて、きめ細やかな情報提供の方法を模索していきます。



海外語学研修の担当スタッフが丁寧に回答しました。



実際に海外語学研修に参加した学生の体験談もお話しました。



硬式テニス部

硬式テニス部は18名の学生団体が毎週2、3回程度活動を行っています。初心者と経験者分け隔てなく、クラブ対抗戦昇格を目指して環境学部、経営学部合同で日々練習しています。普段の練習では、練習メニューを自分たちで考え上達を目指す人や、運動不足解消のために練習に参加する人など学生の自主性を重視しております。大学から初めて硬式テニスを始める学生もあり、楽しく和気あいあいとやっています。

10月の環謝祭では部員有志で「焼き鳥屋」の模擬店を出店します。例年多くの方にお買い求めいただき、その売り上げは私達硬式テニス部の消耗品購入費や運営費の一部として、活用させていただいております。今年も来てくださる方々に満足していただけるよう頑張りますので、お時間がありましたらぜひお越しください！

部長：伊藤 海渡（環境学部 3年）



狩猟部

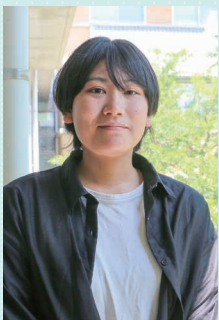
私たち狩猟部は、2023年に同好会からスタートした新しい部活です。

私たちは若者への狩猟やジビエなどの普及を目的として部活動に取り組んでおり、実際に、狩猟免許を取得し、県や市に登録した部員が狩猟を行っています。加えて、購入したシカ革を使ったレザークラフトやシカの角を使ったキーホルダーの制作、販売、ジビエバーベキューの開催など野生動物に関わる幅広い活動をしています。そのため、狩猟に興味がある部員以外にも様々な部員が活動しています。最近の活動では、県や市に登録した部員が仕留めたイノシシの皮を自分たちでなめし、レザークラフトで使えるよう加工することにチャレンジしています。

今年度の環謝祭でも、シカ革やシカ角などを活用したレザークラフトなどを販売する予定です。ぜひ足を運んでみてください。

部長：小川 来愛（環境学部 3年）

資格取得



環境学部 4年生
黒瀬 陽織 さん

ビオトープ管理士（計画部門）2級 取得

大学で環境保全に興味を持ち、理論だけでなく実践方法の理解を高めるためにビオトープ管理士（計画部門）2級を取得しました。知識に加えて、法律や生物と環境の間の相互作用の関係性も念頭に置きかけとなり、自然環境に対して様々な視点を持って関わっています。勉強はテキストだけでなく現場観察を重視し、「自然を守りたい」という初心を忘れず、常に意識してモチベーションを保っていました。

次は同じビオトープ管理士である施工部門の方の資格にも挑戦し、さらに専門性を高めたいと考えています。



経営学部 3年生
稲野辺 七海 さん(写真)
緒方 安奈 さん

ITパスポート

取得

私たちはゼミへの所属をきっかけに、ITの基礎知識を身につけたいと考え、ITパスポートの資格取得を目指しました。

齊藤先生が主催する勉強会に参加し、主に市販のテキストや過去問題を使って学びました。実務経験に基づいた解説が具体的で分かりやすく、理解をより深めることができました。テキストは大学の補助を受けて購入できるため、学習を始めやすく、短期間(50時間程度)の学習で資格取得を目指せます。

現在必要とされているITの基礎知識に限らず、経営全般やプロジェクトマネジメントに関しても学べるため、学部を問わずおすすめできる資格です。

指導教員からのコメント

ITパスポートは、ITを活用するすべての社会人・これから社会人となる学生が備えておくべき、ITに関する基礎的な知識が証明できる国家資格です。社会に出てからも有用な資格ですので、早めの取得をおすすめします。

経営学部 齊藤 哲 教授



プロジェクト名

考現学 ～観察を通して社会を読み解く～

考現学を提唱した今和次郎は、大正14年、西洋文化が流れ込む銀座で行き交う人々の服装や髪型を観察調査し、当時の流行や変わりゆく社会風俗を読み解こうとしました。考現学とは、人々の行動や物事を観察、調査し世俗や風俗を明らかにしようとする学問です。本プロジェクト研究は、考現学を参考に学生が普段何げなく抱えている社会や身の回りの疑問を自ら解き明かすことをテーマに取り組んでいます。

今回は、「スーパーマーケットにおける店舗運営と利用者の行動の関係」「鳥取県立図書館と市立図書館の利用者の違いは？～立地条件からの考察～」「学食と昼食」「マスクの今日的意義に関する考察」という4つのテーマを分かれて取り組んでいます。例えば「学食と昼食」では、学生が学生食堂で昼食を食べる以外にもレポートに取り組んでいたりと、友達同士で雑談していたり様々なことをしていることに着目し、学食の食事場所以外の機能や特徴を明らかにすることや、学生が学食以外のどのような場所で昼食を食べているのかを明らかにしようとして取り組んでいます。まだ途中段階ですが、学生は学食で昼食を食べる以外にも様々な行動・活動をしており、その内容は学食内の場所

によって傾向が異なること、また学内でも様々な場所が学生の昼食場所として利用されており、なかにはあまり知られていない学内のビュースポットが昼食場所となっていることなどが明らかになりました。以上が「学食と昼食」の内容です。

一見すると学生が好きなことを調べているだけのように見え、何を学んでいるのか？と思う方もいるかもしれません。しかし、何気ない疑問であってもきちんと明らかにしようとすると、調査テーマの設定、調査、結果の取りまとめ、考察という社会科学の基本的な研究プロセスを経験することが必要となり、論理的思考力を養うことに繋がります。学生らには、今回のプロジェクト研究の経験を通して自身で考える力を身につけて欲しいです。



▲ 食堂以外の昼食場所1(教育研究棟 見晴らしが良く静か)

▲ 食堂以外の昼食場所2
(メディアセンター前 新入生に人気)

▲ グループワークの様子

プロジェクトアドバイザー

環境学部 山口 創 准教授

プロジェクトメンバー

プロジェクト研究1 〈環境学部〉加藤 秀清、狩峯 光琴、島崎 琴音、中森 葉汰、芳田 晃太郎
〈経営学部〉稲葉 勘太、後藤 巴月、佐々木 陽斗、房安 玲、三島 さくら
プロジェクト研究3 〈環境学部〉西野 夏未、植垣 一成、尾尻 あい、越取 千夏、早田 脩人
〈経営学部〉岡本 竜哲、日名 愛華、牧田 真琴

編集チームからの一言

\\ 今回はランチ紹介です。//



Sさん

素材の
味で!

お昼は季節の野菜とみそ汁です。野菜は基本、素材の味で食べています。最近はキュウリをざりざりかじっています(^^)



Tsさん

子供の分も
一緒に!

お昼ご飯はお弁当が多いです。子供がお弁当を持っていく日はいつもよりおかずの品数が増えます。



Oさん

学食派
です!

お昼ご飯は学食が多いです。この日は若葉台小学校に設置している里山生物園の学生メンバーとランチミーティングを行いました。



Nさん

前日に
詰めて
ます!

お昼ご飯はお弁当の日が多いです。朝はゆっくりしたいので、前日の夜にできるだけおかずを詰めています。

作り置き
おかずで!

Ttさん

お弁当の日が多いです。週末の作り置きがある月曜日をピークに、週の後半にかけておかずのレベルが下がっていく傾向にあります。



2025年度SDGs共創プロジェクトについて



SDGs共創プロジェクト

SDGs共創プロジェクトは、鳥取商工会議所(工業部会)・鳥取県・本学の三者が連携し、本学の学生が教員の指導の下、SDGs経営に取り組む県内事業者の環境問題の解決に取り組むものです。今年度は以下の課題に取り組んでいます。

NEW 今年度開始の取組紹介

白髪染めサロンを鳥取県内で展開する(株)美染は、使用済みのカラー剤のアルミチューブ容器を独自に回収・リサイクルし、その収益を地域のこども支援に活用しています。同社は、今後この活動をさらに広げ、地域的美容業界がSDGsに貢献するモデル構築を目指しています。そこで、環境学部の金ゼミは、リサイクル活動拡大に向けた調査研究を進め、協力体制や回収モデルの提案を行う予定です。



▲意見交換の様子



使用済み容器▶

事業者名	調査研究のテーマ・プロジェクト内容	担当ゼミ	新規・継続
(株)美染	カラー剤のアルミチューブ容器のリサイクル活動等の拡大	金ゼミ	新規
美保テクノス(株)	建設業におけるCO2排出量算出モデルの構築	門木ゼミ	継続(2024～)
大同端子製造(株)	AIを活用した工場内の電力消費量の可視化	堀ゼミ	継続(2024～)
菌興椎茸協同組合	生分解性素材による椎茸種菌の保護蓋の開発	金ゼミ	継続(2021～)
		門木ゼミ	継続(2021～)

参考： <https://www.kankyo-u.ac.jp/tuesreport/2025nendo/0508/>

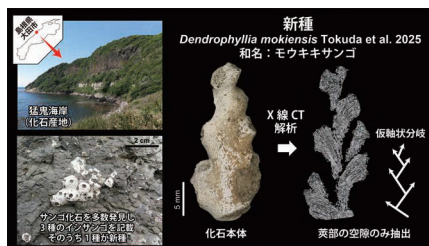
環境学部 徳田准教授らが 鳥根県大田市猛鬼海岸から 新種のイシサンゴ化石を発見!

公立鳥取環境大学環境学部の徳田悠希准教授は、山田直人氏(本学環境学部卒業生)、遠藤寛海氏(本学環境学部卒業生)、千徳明日香准教授(琉球大学理学部)、江崎洋一教授(大阪公立大学大学院理学研究科)、林広樹教授(鳥根大学総合理工学部)、松浦良彦氏(石見銀山地質研究会)、河野重範主任研究員(栃木県立博物館)との共同研究により、鳥根県大田市猛鬼海岸の約1500万年前(新生代中期中新世)の地層から新種のイシサンゴ化石を発見し、イシサンゴ目キサンゴ科キサンゴ属の新種として記載報告しました。化石が発見された猛鬼海岸の地名から、*Dendrophyllia mokiensis*と命名し、和名をモウキキサンゴとしました。キサンゴ属のサンゴにはさまざまな群体形がみられますが、本種は仮軸状群体を形成する最古のキサンゴ属サンゴであることがわかりました。また、本研究ではキサンゴ属に加え*Petrophyllia*属のサンゴも同一層準から

数多く見つかりました。キサンゴ属と*Petrophyllia*属の両方のサンゴが優占する無藻性イシサンゴ群集が報告された初めての例です。この研究は、日本古生物学会が発行する国際誌「Paleontological Research」オンライン版で公開されました。



▲詳細



「学生向け救急救命講習」 を実施しました

学生が大学内で救命処置を必要とする場面は、教職員が不在となる夜間や休日のサークル活動中などが想定されます。こうした緊急時に学生が適切に対応できるよう、本学では2025年6月18日(水)、応急手当普及員の資格を持つ職員の指導のもと、「学生向け救急救命講習」を実施しました。

講習には、サークル代表者や救命に関心のある学生10名が参加し、スライドや動画で救命手法を学んだ後、蘇生訓練用的人形やAEDトレーナーを使った実技訓練を行いました。講習中には「119番通報する人と発見者は近くにいないと意思疎通が取れない」といった実際のケースを想定した声が聞かれ、実践的な内容となりました。参加者には消防長から「救命入門コース参加証」が交付されます。



同窓会からのお知らせ

鳥取環境大学同窓会 20周年記念事業を行います

鳥取環境大学同窓会は創立20周年を迎えました。環謝祭に合わせて、10月12日(日)に20周年記念事業(小林学長、徳田准教授の記念講演、懇親会など)を行います。記念講演は在学生やその保護者も聴講できますのでお気軽にご参加ください。

鳥取環境大学同窓会HP
<https://tues-dousoukai.com/>



詳しくは各お問い合わせ先へご連絡ください

大学祭



第25回 環謝祭 (大学祭)

想造 CREATE ～記憶に刻まれる一瞬を形に～

アーティストによるコンサートやサークルのパフォーマンス、委員会が考えた特別企画、そしてたくさんの模擬店と楽しいイベントが盛りだくさんなので、ぜひご来場ください！

● 日程：2025年10月11日(土)・12日(日)

● 会場：公立鳥取環境大学

お問い合わせ 大学祭実行委員会

E-mail gaksuai@kankyo-u.ac.jp

HP <https://r.goope.jp/kansyasai21>

公開講座



公開講座

本学では一般の方を対象とした公開講座を実施しています。オンデマンド動画配信もありますので、ぜひご視聴ください。(動画は随時更新中) また、令和7年度

は、リカレント教育の充実を図り、昨年に引き続きAI・数値・データサイエンスの基本的な活用法に関する講座を、コース形式で実施します。今年度も引き続き魅力的なテーマでの公開講座の実施に努めて参ります。

● 講座情報や動画視聴はこちらから

公立鳥取環境大学 公開講座

<https://www.kankyo-u.ac.jp/about/alliance/seminar/>

お問い合わせ 研究交流推進課

TEL 0857-38-6704

E-mail event@kankyo-u.ac.jp

お申し込み
フォーム



KAN ラジ 動画配信中

環境大から、あなたへ!

知識は宝だ! 環境大の気軽に学べるラジオ

KANラジ

KANラジとは?

本学の教員が自身の専門分野や研究についてラジオパーソナリティとトークを展開する、気軽に学べるラジオ番組です。

FM鳥取で放送されたKANラジの収録風景を本学公式YouTubeチャンネルからご覧いただけます。

KANラジ
再生リスト



本学教員の、普段なかなか聞くことのできる話をぜひご視聴ください!
第9回「農業と経済」経営学部 山口 和宏 准教授
第10回「下水汚泥からエネルギーを創る。メタン発酵処理とは?」環境学部 戸町 文仁 准教授

主なスケジュール (2025年9月から2026年3月まで)

		お問い合わせ先
9/30(火)～10/1(水)	後期ガイダンス	学務課
9/29(月)～10/1(水)	履修登録期間	学務課
10/2(木)～10/8(水)	履修科目変更期間	学務課
10/10(金)	金曜日の授業日/午後休講	学務課
10/11(土)～10/12(日)	環謝祭	学務課
10/13(月)	金曜日の授業日/午前休講	学務課
11/8(土)	保護者懇談会	学務課
12/29(月)～1/3(土)	事務取扱休業	総務課
1/16(金)	大学入学共通テスト前日準備(全日休講)	入試広報課
1/21(水)	プロジェクト研究発表会	学務課
2/3(火)～2/9(月)	後期試験	学務課
2/12(木)～2/16(月)	後期追試験	学務課
3/19(木)	学位授与式	総務課

※スケジュールは変更になる場合があります。変更がある場合は本学ホームページに掲載します。

2025年度 学部・大学院 学位授与式

2025年度公立鳥取環境大学 学部・大学院学位授与式を左記の通り執り行います。開催日が近づきましたら、詳細をホームページでお知らせしますので、ご確認の上、ご出席ください。

【日時】2026年3月19日(木)
10:00 / 開 式
(9:30受付開始/13:00終了予定)

【会場】とりぎん文化会館梨花ホール
(鳥取県鳥取市尚徳町101-5)

〈お問い合わせ先〉
公立鳥取環境大学総務課
TEL:0857-38-6700



寄附金のお願い

〈公立鳥取環境大学基金〉

学生の修学・生活の援助や教育活動の支援及び教育研究施設・設備等の整備に活用します。

● 詳細はこちらから

<https://www.kankyo-u.ac.jp/about/donation/>



〈ふるさと納税〉

令和7年2月よりふるさと納税を活用した大学への取組みに対する支援ができるようになりました。

● 詳細はこちらから

<https://soko.rms.rakuten.co.jp/f312011-tottori/9002/>



お問い合わせ 総務課財務係 TEL 0857-38-6705 E-mail zaimu@kankyo-u.ac.jp

お知らせや
ニュースを発信中!

公立鳥取環境大学 公式SNS



@kankyo_U
(旧ツイッター)



@kankyo-u



公立鳥取環境大学
公式チャンネル

